

想定・・・震度 6～7 程度（被害の様子と人々の意識） ガス・電気・水道は使用不可

- ①家屋の倒壊はないが傾斜等が見られ、不安な状況下でケヤキ広場等へ一時避難も有。
- ②家の中の物を持ち出すことは可能・地震がおさまれば居住も十分可能な状態
- ③各役員は、先ずは自宅の事を処理し、町会の任務に就く。班長は、日頃から班内事情を把握すると共に、地震発生当日は、班内の様子を把握し、班内で助け合い協力し合い、CW(クラブウエスト)に行き、担当役員と協働する。
各役員は、日頃より、防災倉庫や防災物品関係の知識・理解を深める。班長は班内名簿を持つ。

「役割(係)と任務」* 消火・救助は気が付いた者が素早く対応する。 <2022 年 1 月版>

○隊長(泉)・・・日頃からの備えの確認・当日は、全体を指揮する。

○資材管理(山本・1 班田川)・・・日頃から機材の管理(使える・管理場所が分かる・必要品収集)に努める。

当日は、必要品を配置する(毛布・照明・食料・水・薬箱等)・物品名の表示

○情報(西島・4 班鈴木・2 班鈴木)・・・日頃は、各班の世帯名簿表や当日の記録表を用意しておく

当日は名簿張り出し、各班長からの情報で必要事項の記入。資材管理の補助にもあたる。

○消火(池田・3 班佐々木)・・・今回(パトロール係に) 地域内見回り、状況把握と被害を受けた人の救出に当たる。

○救出・救護(新開・7 班渡辺)・・・集まった人の健康やけが等の状況確認。必要な待機場所と関係機関への連絡

○避難誘導(徳安・5 班伊藤)・・・集まる人々への CW の外(芝地)・中(多目的スペース)への移動を指示

○給食(天童・6 班山下・8 班川村)・・・暖かい飲み物程度の用意。(ガスと電気が使用できない状況)・・・マキ・かまど・携帯ガスコンロ用意

★事前に用意するもの

1	集合の配置図面	2	各班の名簿	3	各班の状況記入票
4	場所・物品名の表示	5	緊急連絡先名簿	6	各班の緊急連絡網
7	備蓄品と場所の図・表	8	飲料水備蓄 20×12 本	9	

★テストや事前チェックすべきこと

- ・発電機・電池・防水シート・テントの張り方・トイレの使い方・アルファーマの炊き方…等々。
- ・照明器具・最新の防災備品用具・かまどや備蓄品の確認と一覧表

★各世帯に置かれましても、備蓄用品・転倒防止措置・近所との関係強化等に努力願います。

☆最近、地震が頻発していることと、首都直下型の大地震の備え、急遽簡易マニュアルを作成した。

年々、マニュアルを見直し、状況に合ったものにしていく必要があると考えます。